

メールマガジン『信州と農政を結ぶメルマガ』5月号をお届けします。  
<平成28年5月2日 VOL. 8>

- このメールは、各市町村農政担当窓口様及び登録いただいた皆様に送信しています。  
(本メールはBccで送付しています。)

◆.....◆  
信州と農政を結ぶメールマガジン  
◆.....◆

<目次>

- 1 トピックス
- 2 地方参事官が行く！！
- 3 TPP関連情報について
- 4 プチ農業政策
- 5 地方参事官室からお知らせ

---

<トピックス>

---

- ★ 日本は地震国、できることから対策を！  
熊本では、短期間に震度7を2回というこれまでにない地震を経験しました。  
日頃から、『自分たちが暮らす地域でも地震は起きるものだ』という認識が必要だと、改めて感じます。

熊本地震の食料供給・農林水産業関係被害の状況について ⇒  
<http://www.maff.go.jp/j/saigai/zisin/160414/kumamoto/taiou.html>

- ★ 山シーズン到来  
4月27日、上高地で開山祭が行われました。今年から8月11日が「山の日」として新しく祝日となります。山は森林、観光、環境等の資源として重要なものと認識していますが、長野県に身近な山、これを機に更に大切にしたいものです。

- ★ 田植えシーズン、この時期だから見られる田園風景のスポット  
これから田植えシーズンとなりますが、水田が大きな水鏡となり、新緑の山々など周りの景色を映し込むことにより、この時期ならではの美しい風景を見ることが出来ます。  
各地域毎自慢のスポットがあるのではないのでしょうか。

---

<地方参事官が行く！！>

---

- ★ 現在、各市町村を巡回して、市町村長等との意見交換を実施しています。その中で、深刻な鳥獣害被害への対策にご苦労されているのご指摘がいくつかありました。  
中山間地域である長野県では、従来より、鹿、猪、猿、熊などの鳥獣害被害が深刻であり、成長した農作物が一夜にして壊滅的な被害を受けることは、本当に辛く悲しいことだと思います。  
各地域では、電気柵や罠の設置、狩猟による駆除などが行われているようですが、まだまだ被害は多いようです。  
このような鳥獣被害の状況とその対策などについて、県の担当部局とも連携しながら今後とも検討していきたいと思っております。  
なお、ご承知のとおり、捕獲鳥獣のほとんどが埋没処理ですが、衛生上の確実な処理と適切な加工・調理技術があれば、鹿などの野生鳥獣はジビエとして優良な食肉利用が可能です。  
鳥獣害被害の防止とあわせ、地域の新たな特産品としての捕獲鳥獣肉等の活用についても検討していく必要があると改めて認識しています。  
皆様のご意見をお願いします。

長野支局 地方参事官 松井 宏聡

---

<TPP関連情報>

---

- ★ 各種公表資料の一部修正について（平成28年4月26日）  
TPP交渉では、交渉開始時に最新であった2007年改正HS条約（※）（HS2007）による品目分類が用いられ、これに基づき大筋合意がなされましたが、最終的な協定は最新のHS2012に変換されました。  
それに合わせて農政新時代パンフレット、品目別TPPパンフレット等各種公表資料の一部を修正しました。  
関税に関する合意内容が変わるものではありません。  
【内容は、こちらから ⇒ <http://www.maff.go.jp/j/kanbo/tpp/index.html>】

（※）HS条約：商品の名称及び分類についての統一システムに関する国際条約

---

<プチ政策情報> お知らせします農業政策（公表含む）

---

- ★ 「飼料用米多収日本一」について（平成28年4月8日）  
農林水産省は、一般社団法人日本飼料用米振興協会と共催し飼料用米の多収を全国で競う「飼料用米多収日本一」表彰を開催します。  
【内容は、こちらから 一般社団法人日本飼料用米振興協会ホームページ（外部リンク） ⇒ <http://www.j-fra.or.jp/index.html>  
飼料用米関連情報「飼料用米多収日本一」表彰（農林水産省） ⇒ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/siryouqa.html>】
- ★ 「食品安全マネジメント等推進に向けた準備委員会最終とりまとめ」の公表について（平成28年4月26日）  
「食品安全マネジメント等推進に向けた準備委員会」において、HACCPを含む食品安全管理の規格・認証の仕組み、人材育成及び情報発信についての具体的進め方、考え方について約1年間議論が行われ、今回最終とりまとめが公表されました。  
主な内容  
（1）食品安全に係る世界の潮流と日本における食品安全マネジメントに関する取組の現状（課題と日本における規格策定推進の意義）  
（2）新たに構築する食品安全マネジメント規格・認証スキームについての提言  
（3）今後の食品安全マネジメント協会に対する期待  
【内容は、こちらから ⇒ <http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/koudou/160426.html>】
- ★ 「農の雇用事業」の募集の開始について【平成28年8月研修開始分】（平成28年4月25日）  
農業法人等が就農希望者を新たに雇用して実施する研修に対して支援を行う「農の雇用事業」を実施しています。  
全国農業会議所において、平成28年8月からの研修を対象として事業参加者の募集を開始します。  
【内容は、こちらから ⇒ <http://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/160425.html>】
- ★ 「『食と農の景勝地』に関する関東ブロック説明会」の開催について（平成28年4月19日）  
海外における日本食・食文化に対する関心が近年高まっており、日本を訪れて「本場の日本食」を体験したいという外国人のニーズも高まっています。  
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会も見据え、地域の食とそれを生み出す農林水産業を核として訪日外国人を中心とした観光客の誘致を図る地域での取組を「食と農の景勝地」として認定する仕組みを創設しました。  
関東農政局において、制度の周知及び応募促進を図るために説明会を開催します。  
開催日時：平成28年5月23日（月曜日）13時30分～16時00分  
開催場所：さいたま新都心合同庁舎2号館5階 共用大会議室5A（埼玉県さいたま市中央区新都心2-1）  
参集者：都県、市町村、農協関係、漁協関係、外食関係、宿泊関係、観光関係、その他の関係者、関係府省出先機関等  
【内容は、こちらから ⇒ [http://www.maff.go.jp/kanto/press/syo\\_an/seikatsu/160419.html](http://www.maff.go.jp/kanto/press/syo_an/seikatsu/160419.html)】
- ★ 野菜の生育状況及び価格見通し（平成28年5月）について（平成28年4月28日）  
【内容は、こちらから ⇒

[http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai\\_zyukyu/index.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/index.html)】

- ★ 米に関するマンスリーレポート(平成28年4月号)の掲載について(平成28年4月8日)  
お米に関する情報が満載です。コメ農家さん必見!!  
【内容は、こちらから ⇒  
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>】
  
- ★ 平成27年産指定野菜(春野菜、夏秋野菜等)の作付面積、収穫量及び出荷量について  
(平成28年4月26日)  
概要  
春野菜 : 作付面積は3万6,600haで、前年産に比べ200ha(1%)減少。  
夏秋野菜 : 作付面積は6万5,900haで、前年産に比べ600ha(1%)減少。  
【内容は、こちらから ⇒  
[http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_yasai/index.html#y](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/index.html#y)】
  
- ★ 平成27年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量(平成28年4月5日)  
概要  
西洋なし : 結果樹面積は1,510haで、前年産に比べ10ha(1%)減少。  
かき : 結果樹面積は2万800haで、前年産に比べ500ha(2%)減少。  
くり : 結果樹面積は1万9,800haで、前年産に比べ400ha(2%)減少。  
【内容は、こちらから ⇒  
[http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kazyu/index.html#y2016](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y2016)】

---

<地方参事官室からお知らせ>

---

- ★ 農作業事故に注意!  
県内でも農機具の横転による死亡事故が発生しています。慣れた作業でも安全に気をつけて作業をお願いします。  
高齢者特有の事故回避に必要な知識や安全意識の醸成等を目的とした「農作業安全診断ソフト」がHPに掲載されていますので、ご活用下さい。  
また、農作業安全対策の一環として、2016年「農作業安全ポスターデザインコンテスト」を開催しています。絵画、イラスト、CG、写真などポスターデザインのご応募をお願いします。  
  
「農作業安全診断ソフト」 ⇒  
[http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/tool/index.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/tool/index.html)  
「農作業安全ポスターデザインコンテスト」 ⇒  
<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/sien/160425.html>
  
- ★ 野生植物の食中毒に関する注意喚起について  
長野県内で、有毒植物「スイセン」を食べたことによる食中毒が発生しました。  
特に、新芽などで植物の見分けが付きにくい4月、5月に多く発生しているとのことです。ご注意ください  
【注意喚起について、こちらから  
厚生労働省 ⇒  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000122955.html>  
消費者庁 ⇒  
[http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/release/pdf/160413kouhyou\\_1.pdf](http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/160413kouhyou_1.pdf)】
  
- ★ 「平成28年度農薬危害防止運動」の実施について(平成28年4月26日)  
農林水産省は、厚生労働省、環境省等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を6月から8月にかけて実施します。  
【内容は、こちらから ⇒  
<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/160426.html>】
  
- ★ 日本農業遺産の認定及び世界農業遺産への認定申請に係る承認に関する公募について  
(平成28年4月12日)  
我が国において将来に受け継がれるべき伝統的な農林水産業システムを広く発掘するため「日本農業遺産制度」を創設し、日本農業遺産への認定を希望する地域を募集します。併せて、世界農業遺産への認定申請に必要な農林水産省の承認を希望する地域を募集し

